

Ⅱ 重点事項（北上市地域福祉活動計画 基本目標）の活動状況

基本目標1 地域福祉を担う人づくり

- 当協議会の認知度向上を図ること、また、当協議会事業等の効果的・多角的発信や幅広い世代に対する情報発信を強化することを目的に、ボランティア募集情報や助成金情報をお知らせするメールマガジンを新たに配信しました。
- 企業等からのボランティア活動や地域貢献活動の相談に応じ、支援を必要としている方や団体とのマッチングや情報提供を行い、企業等の継続的な地域貢献活動を支援しました。
- 市内学校（小・中・高校及び専門学校）の先生方を対象に、福祉教育及びボランティア活動の更なる充実に向けて、当協議会や各学校の取り組みの紹介、今後の推進方法等について意見・情報交換を行いました。

(1) 地域を支える側、支えられる側どちらの立場でも「お互いさまの気持ち」で地域をつくるという意識を醸成する機会をつくる

事業名、内容及び実績	成果や課題等
1 きたかみ社協だより発行事業 (1) きたかみ社協だより ① 発行回数：4回 （発行月：4月、7月、9月、2月の第3週金曜日に発行） ② 発行部数：157,232部 （1回 約39,308部）	社協だよりを全世帯に配布し、当協議会事業や福祉に関する情報を広く市民に提供し、意識の啓発を図りました。また、特集記事の掲載や紙面構成を工夫し作成・発行しました。 限られた発行回数の中で情報量や適時性等については、ホームページやFacebookページを有効に活用し可能な限り補完しました。 【指標】 広報発行 年4回 【結果】 広報発行 年4回
(2) ボランティア通信 ① 発行回数：3回（社協だよりに折込み） ② 発行部数：117,834部 （1回 約39,278部）	ボランティアに関する情報を収集し、「ボランティアみみより情報」として全世帯に配布しました。作成にあたっては、ボランティア活動の様子が分かる写真等を掲載し、ボランティア活動をより身近に感じてもらえるよう意識した情報発信を行いました。
(3) ホームページ等の運営、管理 ① ホームページアクセス数：9,294回 ② Facebookページアクセス数：6,875回	当協議会事業の情報を分野ごとに整理し、見やすく分かりやすいホームページの運営・管理に努めました。また、時機にあった情報提供・発信をするため、「きたかみ社協だより」とあわせ、ホームページ及びFacebookページを活用し、効果的・多角的な情報発信を行いました。 【指標】 SNS閲覧回数18,000回 【結果】 SNS閲覧回数16,169回
(4) メールマガジンの配信 ① 配信回数：7回（第3水曜日に配信） ② 配信先：40件（個人1名、団体・関係機関39か所）	幅広い世代への情報発信の強化や当協議会の認知度向上を図るため、新たに配信を開始しました。配信希望者等が少ないことから、機会を捉えて周知を行います。

事業名、内容及び実績	成果や課題等
2 北上市民福祉大会 (1) 第34回北上市民福祉大会 ① 期 日：7年11月7日（金） ② 会 場：さくらホールfeat. ツガワ（大ホール） ③ 参加者：460名 ④ 表 彰：40名 ・社会福祉事業功労者 3名 ・社会福祉奉仕功労者 30名 ・共同募金運動功労者 3名 ・褒賞（在宅介護） 1名 ・褒賞（自立更生） 3名 ⑤ 記念講演 演題：「みんなが主役の地域づくりを進めるために」 講師：公益財団法人さわやか福祉財団 理事長 清水 肇子 氏 ⑥ オープニングステージ ・社会福祉法人虹色の輪 北鬼柳にじいろ保育園 「マツケンサンバⅡ」	支え合い誰もが安心して健やかに暮らせる地域社会を目指し、市民が一堂に会し、福祉向上の更なる努力を誓い合い、多年にわたり社会福祉の発展に寄与された方々を顕彰し、感謝の意を表することを目的として開催しました。 記念講演では、地域共生社会の必要性や仕組みづくりの進め方等について、これまでの実践活動に基づく講演をいただき、今後の地域づくり推進の参考となる貴重な機会となりました。また、地域共生社会の実現に向けて関係者の共通理解を図ることができました。 【指標】参加者800名 【結果】参加者460名 以下は、事業名、内容及び実績の続き ⑦ 出店販売（6団体） あけぼの、しらゆり工房、萩の江、北萩寮、ワークステーションきたかみ、ハートフルショップまごころ 県内の社会福祉関係者が一堂に会し、共に生き、共に支え合う福祉社会の実現を目指し、関係者が共通理解を深めるとともに、多年にわたり社会福祉の発展に寄与された方々を顕彰し、感謝の意を表しました。
(2) 第78回岩手県社会福祉大会 ① 期 日：7年11月14日（金） ② 会 場：トーサイクラシックホール岩手（岩手県民会館 大ホール） ③ 表 彰：12名（北上市分） ・岩手県社会福祉大会長表彰 社会福祉事業功労者 10名 永年勤続功労者 1名 ・岩手県民生委員児童委員協議会長表彰 1名	

事業名、内容及び実績	成果や課題等
3 ふれあい20歳のつどい ① 期 日：8年1月11日（日） ② 会 場：ANAホリデイ・イン岩手北上 ③ 参加者：62名（うち対象者8名、家族18名） ④ 内 容：記念写真撮影、式典（北上市社会福祉協議会障害者地域活動支援センター音楽教室利用者の合唱）	心身に障がいを持つ20歳の方とその家族を対象に、節目のお祝いと今後の活躍を祈念し式典を実施しました。 また、北上市20歳のつどいと連携を図り、誘導や付添者の入場等に配慮し、当つどい又は北上市20歳のつどいいずれかに参加できるよう環境づくりに努めました。 【指標】出席率100% 【結果】出席率 53%（メッセージ出席を含む）

事業名、内容及び実績	成果や課題等
4 敬老会事業への支援【市交付金事業】 ① 開催地区：62地区 （未開催地区：5地区） ② 該当者：15,202名 ③ 出席者：2,689名	多年にわたり社会に尽くしてきた高齢者に敬意と祝意を表するため、各地区で開催する敬老会を支援しました。 今年度は敬老対象者と地域住民が一堂に会する形式での開催を基本とし、交付金は出席者数に基づき交付しました。なお、交付金は事前交付又は精算交付の選択制とし、円滑な交付や事務負担の軽減を図りました。 【指標】出席率30% 【結果】出席率20%

事業名、内容及び実績	成果や課題等
5 地域福祉懇談会 (1) 地域福祉懇談会 ① 期 間：7年7月3日から7月9日 ② 参加人数：257名 ③ 実施箇所：7カ所（支部別参加人数） ・黒沢尻北 51名 ・黒沢尻東 46名 ・黒沢尻西 42名 ・口 内 17名 ・稲 瀬 11名 ・相 去 45名 ・江 釣 子 45名 (2) 北上青年会議所との懇談会 ① 期 日：7年10月16日（木） ② 会 場：スパットビル ③ 参加者：16名（青年会議所10名、社協6名） ④ 内 容：情報及び意見交換 「北上市や自分の住む地域の福祉・生活課題について」 「生活課題の解決方法について」 「社協活動に期待すること」 「若い世代の福祉活動等参加促進検討会（仮称）について」 (3) 北上市PTA連合会との懇談会 ① 期 日：7年11月13日（木） ② 会 場：北上市総合福祉センター ③ 参加者：21名（市P連15名、社協6名） ④ 内 容：北上青年会議所との懇談会と同様	今年度は希望する支部（地区）での開催とし、地域が希望するテーマで情報及び意見交換を行いました。特に、今年度から事業を実施した重層的支援体制整備事業は、住民に事業の理解を深めていただけるよう、実際の対応事例等を紹介するなど工夫しながら説明を行いました。 また、地域福祉全般に関する意見交換では、今後の福祉活動を推進する上で参考となる意見交換を行うことができました。 若い世代や福祉関係者以外から意見を伺う機会として、北上青年会議所及び北上市PTA連合会と懇談会を行いました。 身近な地域の課題や日ごろ感じていること等について意見交換を行うことができ、また、若い世代の福祉活動等への参加促進方法を検討する場をスタートすることができました。 【指標】案内に対する参加率60% 若い世代または福祉関係者以外との懇談会 2団体 【結果】案内に対する参加率59.5% 若い世代または福祉関係者以外との懇談会 2団体

事業名、内容及び実績	成果や課題等
6 あいさつ運動推進事業 ① 黒沢尻北地区 実施期間：7年4月1日～5月31日 のぼり旗設置：6カ所（公民館） ポスター掲示：6枚（公民館） チラシ配布：5,625枚（全戸配布） ② 黒沢尻東地区 実施期間：7年4月1日～5月31日 のぼり旗設置：11カ所（通学路、公民館等） ※黒沢尻27区は通年で立哨活動を実施 ③ 黒沢尻西地区 実施期間：7年4月7日～4月25日 のぼり旗設置：44カ所（公民館、主要道路等） ポスター掲示：12枚（行政区掲示板、公民館等） チラシ配布：128枚（地区内回覧） ④ 立花地区 実施期間：7年4月1日～4月11日 のぼり旗設置：2カ所（交流センター） ポスター掲示：1枚（交流センター） チラシ配布：67枚（地区内回覧） ⑤ 飯豊地区 実施期間：7年4月1日～5月31日 のぼり旗設置：2カ所（交流センター、市営住宅付近） チラシ配布：ふれデイ開催時に回覧 ⑥ 二子地区 実施期間：7年5月1日～5月31日 のぼり旗設置：8カ所（交流センター、小中学校等） ポスター掲示：32枚（自治会掲示板、小中学校等） チラシ配布：1,117枚（全戸配布） ⑦ 更木地区 実施期間：7年4月7日～4月11日 のぼり旗設置：12カ所（交流センター、小学校等） ポスター掲示：12枚（自治会掲示板等） チラシ配布：338枚（全戸配布「センターだより掲載」） ⑧ 黒岩地区 実施期間：7年8月21日～8月27日 のぼり旗設置：4カ所（通学路等） ポスター掲示：2枚（交流センター、掲示板） チラシ配布：19枚（地区内回覧）	地域のつながりを深めるため、家庭や地域で意識的に“あいさつ”を行う強化月間を設定し、近隣同士の助け合い精神を醸成しました。 また、運動を推進するために必要な資機材（のぼり旗、横断幕、チラシ、ポスター）を準備し、取組地区をはじめ、市民に対する意識啓発を図りました。 【指標】取組地区14カ所 【結果】取組地区13カ所 以下は、事業名、内容及び実績の続き ⑨ 口内地区 実施期間：7年4月1日～5月31日 のぼり旗設置：1カ所（交流センター） ポスター掲示：10枚（交流センター、公民館等） チラシ配布：67枚（地区内回覧） ⑩ 稲瀬地区 実施期間：7年4月1日～5月31日 のぼり旗設置：12カ所（公民館、主要道路等） ポスター掲示：3枚（公民館） チラシ配布：246枚（全戸配布） ⑪ 相去地区 実施期間：7年4月4日～5月31日 のぼり旗設置：15カ所（交流センター、小中学校等） ポスター掲示：なし チラシ配布：181枚（地区内回覧） ⑫ 鬼柳地区 実施期間：7年4月7日～5月31日 のぼり旗設置：20カ所（交流センター等） ポスター掲示：1枚（交流センター） チラシ配布：112枚（地区内回覧） ⑬ 江釣子地区 実施期間：7年4月7日～5月31日 のぼり旗設置：8カ所（交流センター、通学路等） ポスター掲示：2カ所（支部事務室） チラシ配布：284枚（地区内回覧） ⑭ 和賀地区 取り組みなし

事業名、内容及び実績	成果や課題等
7 社協出前講座（講師派遣事業） ① 派遣回数：6回 ・一般：6回 ② 参加人数：延べ124名 ③ メニュー登録数：12（北上市出前講座登録数）	地域や学校からの要請に応じ、当協議会事業の概要や福祉・ボランティア活動等の講演を行い、福祉に関する学習や研修を支援しました。 学校からの依頼はなく、市民からの依頼のみとなりましたが、社会福祉協議会の業務や日常生活自立支援事業に対する理解が図られました。 【指標】講師派遣10回 【結果】講師派遣6回

(2) 元気高齢者や退職者などの新たな担い手を視野に入れた地域福祉を担う人材の開拓と企業等とのボランティア活動の連携強化

事業名、内容及び実績	成果や課題等
1 ボランティア講座 (1) ボランティア発見講座【基礎編】 ① 期 日：7年7月26日（土） ② 会 場：北上市総合福祉センター ③ 参加者：17名（高校生17名） ④ 内 容：ボランティア活動についての講話、キャップハンディ体験、活動報告、ワークショップ (2) ボランティア発見講座【実践編】 ① 期 日：7年7月29日（火）～8月9日（土） ② 会場等：デイサービスセンター常盤台、萩の江、あいさり認定こども園、川岸保育園、北鬼柳にじいろ保育園、広瀬川周辺 ③ 参加者：15名（高校生15名） ④ 内 容：高齢者福祉施設及び障害者福祉施設での夏祭り行事の補助、保育補助、河川清掃 (3) やさしさ育成プロジェクト（親子ボランティア講座） ※実施中止	福祉やボランティアに関する知識と関心を深め福祉意識の向上を図り、支え合いの心を育むことを目的として、学生向けの講座を開催しました。 ボランティア発見講座基礎編では、学生を対象にボランティア活動の講話や専修大学北上福祉教育専門学校学生による活動報告、ボランティア活動を考えるワークショップを実施し、福祉やボランティア活動に対する理解を深めました。また、キャップハンディ体験を通して、障がい者への接し方や支援する際の留意点等を学びました。 実践編では、市内のボランティア団体や北上市社会福祉法人連絡会等が募集する活動の中から、参加者が希望する活動を選択し、自主的にボランティア活動を行いました。 なお、新たに実施予定としていた「やさしさ育成プロジェクト（親子ボランティア講座）」は、申し込みが親子1組のみであったことから開催を中止しました。令和8年度の実施に向けて、課題の検証や分析を行います。 【指標】参加学校数5校、親子向け講座実施 【結果】参加学校数5校、親子向け講座中止

事業名、内容及び実績	成果や課題等
2 福祉協力員活動事業（住民グループ支援事業） 【市委託事業（一部）】 (1) 委員会 第1回 ① 期 日：7年4月4日（月） ② 会 場：北上市総合福祉センター ③ 参加者：11名 ④ 内 容： ・会長及び副会長の互選について ・監事選出に係る確認について ・7年度総会及び全体研修会について 第2回 ① 期 日：7年6月2日（月） ② 会 場：北上市総合福祉センター ③ 参加者：12名 ④ 内 容： ・役員研修について ・活動の手引き（素案）について ・情報交換 (2) 総会及び全体研修会 ① 期 日：7年4月17日（木） ② 会 場：さくらホールfeat. ツガワ（中ホール） ③ 出席者：198名 ④ 内 容： ア 総会 ・6年度事業報告及び収支決算について ・7年度事業計画及び収支予算について ・会則の一部改正について イ 全体研修会 ・演題：「福祉協力員活動を行うにあたって」 「社会福祉協議会の事業と今後の取組み」 講師：北上市社会福祉協議会 地域福祉課長 鎌倉 陽子 (3) 訪問活動 ① 福祉協力員数：325名 ② 活動回数：延べ81,787回 ※月別状況等はP33参照	地域福祉活動の推進役として要援護者に対する見守りや訪問活動に加え、福祉サービスの利用や福祉に関する情報提供に努めました。 また、ふれあいデイサービス事業協力者や小地域ネットワーク活動構成メンバーとして、民生委員児童委員及び関係機関と連携を図りながら、誰もが安心して暮らせるまちづくりを積極的に推進しました。 少子高齢化や核家族化、生活スタイルの変化等により、多様化・複雑化した課題を抱えた世帯が増加しており、令和6年度に引き続き高齢者以外の支援対象者に対する見守りや訪問、その他の活動が増加しました。 【指標】 事業認知度30% 【結果】 事業認知度25%

事業名、内容及び実績	成果や課題等
3 ボランティア活動センター事業 (1) 運営委員会の開催 ① 期 日：7年9月22日（月）12名出席 ② 期 日：8年3月12日（木）12名出席 (2) ボランティア登録者数：166名（個人）	ボランティア活動を希望する方の相談に応じ、当協議会で行っているボランティア活動や団体のボランティア活動に関する情報提供を行い、マッチングを行いました。 また、運営委員会において、当協議会事業及び市内のボランティア活動を推進する取り組み等について委員から意見を頂戴しました。 【指標】ボランティア活動実践者個人170名 【結果】ボランティア活動実践者個人166名
(3) ボランティア保険 ① 加入者数：2,984名（活動保険のみ） ② 事故件数：3件（活動保険2件、行事保険1件） ・行事準備中に机に指を挟んだ ・除雪活動中に落雪が頭部に当たった ・スポーツ大会中に転倒し手首を打撲した	ボランティア活動の事故に備えるとともに、安心してボランティア活動ができるようボランティア保険への加入を促進しました。 なお、発生した事故のケガの補償については、すべて手続きを完了しました。
(4) ボランティア活動情報ボード事業 ① 掲示登録団体：10団体 ② 掲示依頼枚数：2枚	情報ボード（さくらホールfeat. ツガワ、生涯学習センター、総合福祉センター）を設置し、ボランティア及びNPO団体の情報発信を支援しました。
(5) 日曜大工ボランティア 活動：0件（申請依頼0件）	一人暮らし高齢者、障がい者の自宅の小修繕等に対するボランティア派遣ですが、活動件数はありませんでした。 技術を持つボランティアの確保に努め、必要な方に支援ができるよう事業の周知を行います。
(6) 企業等の地域貢献活動との連携 ① 東北緑生(株)による高齢者や障がい者宅の庭木選定：3回 ② FC北上（社会人サッカーチーム）による赤い羽根共同募金街頭募金活動：1回 ③ TDKエレクトロニクスファクトリーズ(株)北上工場による高齢者宅の除雪活動：1回 ④ 企業からの相談に対する情報提供：1件	企業等からのボランティア活動や地域貢献活動の相談に応じ、支援を必要としている方や団体とのマッチングや情報提供を行いました。 なお、活動内容を変えながら継続してボランティア活動等に取り組む企業もあり、活動の多様化が図られてきています。 【指標】企業等との連携6社 【結果】企業等との連携3社
(7) ボランティア募集情報一覧「つなぐ」発行 ① 掲載及び応募状況 ア 発行回数：12回 ※毎月第2水曜日発行 イ 掲載申込件数：延べ21件 ウ 活動実績：4件 ② 配架場所 ア 北上市総合福祉センター イ さくらホールfeat. ツガワ ウ 北上市生涯学習センター エ 北上市立中央図書館	ボランティア活動に興味や関心を持つ方と、ボランティアを募集したい団体等をつなぐことを目的として、募集情報一覧を発行しました。 多種多様なボランティア活動情報を掲載・提供し、ボランティア活動のマッチングを行うことができました。 今後も北上市内のボランティア情報を掲載・発信し、双方のマッチングを行い、ボランティア活動の促進や活性化を図ります。

- (3) 子供のころからの福祉教育を大切に、各関係機関と連携強化のうえ、子供たちに福祉について“ふれる”機会を増やす

事業名、内容及び実績	成果や課題等
1 ハウスクリーニング☆プロジェクト (1) 黒沢尻西地区ハウスクリーニング☆プロジェクト ① 期 日：7年7月28日(月) ② 内 容：高齢者や障がい者世帯の窓ガラス清掃、草取り ③ 参加者：28名(学童ひかりクラブ18名、福祉教育専門学校3名、民生委員4名、福祉協力員1名、黒西支部長、黒西支部職員) ④ 実施世帯数：3世帯 ⑤ 支援内容：物品の貸し出し	実施を希望する1地区(支部)が主体的に取り組めるよう支援を行いました。 訪問先の高齢者や参加者同士の世代交流を深めることができました。

事業名、内容及び実績	成果や課題等
2 車いす修理ボランティア事業 ① 車いす修理ボランティア実施校：黒沢尻工業高校 ② 修理車いす台数：6台	黒沢尻工業高校の生徒が、利用されなくなった車いすを修理・整備し、この活動を通して、福祉やボランティア活動について理解を深めることができました。 活動場所の受入体制や移動方法等の課題があり、修繕活動場所の開拓はできませんでした。 【指標】修理台数10台、修繕活動場所の開拓 【結果】修理台数6台、修繕活動場所は未開拓

事業名、内容及び実績	成果や課題等
3 福祉教育等に関する連絡会 ① 期 日：7年11月19日(水) ② 会 場：北上市総合福祉センター ③ 参加者：20名 ④ 内 容： - 福祉教育等の目的や期待される効果等について - 事例紹介 市内の学校で行われている福祉・ボランティア活動 - ア 清掃活動、視覚障害者による講話等 黒沢尻北小学校 - イ 雪まろげ隊、花火大会後の河川敷清掃活動 北上中学校 - ウ 傾聴ボランティア活動、子ども支援等 専修大学北上福祉教育専門学校 - 福祉教育等の推進に関する情報交換	市内全ての小学校、中学校、高校及び専門学校の先生を対象に、当協議会事業の周知、福祉教育及びボランティア活動に係る取り組みや課題等の意見交換を行い、福祉教育等の充実と推進等を図ることを目的に開催しました。 各校での福祉教育等の取り組みの一助としていただくため、ボランティア活動の事例紹介やグループワーク形式で教員同士の情報交換・情報共有を行いました。 連絡会に出席した教職員が中心となり、自校において更に福祉教育等に取り組んでいただけるような仕組みづくりを研究します。 【指標】連絡会年1回実施 【結果】連絡会年1回実施

基本目標 2 地域福祉を支えるネットワークづくり

- 今年度から新たに実施した重層的支援体制整備事業では、複雑化・複合化した支援ニーズに対し、関係機関と円滑な支援体制の構築を図りながら、多機関協働の推進やアウトリーチ活動を通じた継続的な支援に取り組みました。
- 若い世代（児童、生徒を含む）が地域活動や地域福祉活動に興味・関心を持ち、参画する仕組みづくりの検討等を行うことを目的に「若い世代の福祉活動等参加促進検討会（仮称）」を設置しました。
- コミュニティソーシャルワーカー活動事業では、関係機関との会議等を通じて情報収集・共有を行い、重層的支援体制整備事業等と連携を図るとともに、アウトリーチ活動の強化を行い個別課題や地域課題に対応しました。
- 生活支援コーディネーター活動事業では、コーディネーター同士の連携、アウトリーチ活動による新たな地域資源の発掘や地域活動の立ち上げ支援を行うとともに、新たな地域福祉活動者等の開拓に向けて、企業が行う地域貢献活動の情報収集や企業との関係性構築に努めました。

- (1) 生活課題を抱える誰もがSOSを出しやすく、そして地域住民や関係機関等がSOSを受け止めるネットワークとしくみづくり

事業名、内容及び実績	成果や課題等
1 ふれあいのまちづくり事業及び地域住民グループ支援事業(小地域ネットワーク活動) (1) 通年活動 ① ネット数：13支部、279ネット ② 中心者会議：27回開催 ③ 協力者会議：439回開催 ※月別状況等はP33～34参照 (2) 除雪活動 ① 対象世帯数：470世帯（ネット対象者と重複有） ② 協力者数：548名（ネット対象者と重複有） ③ 活動回数：6,426回（ネット対象者と重複有）	小地域を単位として、要援護者が安心して生活できるよう、地域の実情に応じた体制により、見守り活動や安否確認等の支援活動を行いました。 また、自力で除雪を行うことが困難な一人暮らし高齢者世帯等に対し、北上市が実施している地域除排雪制度の活用と地域協力者の協力を得ながら除雪活動を行い、生活を支援しました。 除雪活動については、企業のボランティア活動協力もありますが、地域協力者の高齢化や不足している地区もあることから、活動に参加しやすい仕組みづくりや支え合いの意識醸成が必要です。 【指標】 事業認知度25% 【結果】 事業認知度15%

事業名、内容及び実績	成果や課題等
2 重層的支援体制整備事業【市委託事業】 (多機関協働、参加支援、アウトリーチ等による継続的支援) ① 専任支援員1名、アウトリーチ推進員（兼）ひきこもり相談支援員1名、参加支援推進員1名 ② 新規相談者数：50名 ③ 継続相談者数：38名 ④ プラン作成者数：2名（多機関協働） ⑤ 相談方法及び内容	複雑化・複合化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制を構築するため、今年度新たに北上市から事業を受託し実施しました。 単独機関だけでは課題解決が難しいケースに対しては、年代や分野を横断し、一体的・包括的に課題解決に向けた支援を行うことができました。 また、周知活動に加えて積極的なアウトリーチ活動を行い、支援を必要とする方や地域課題の把握に努めました。 参加支援事業については、農業分野や移動販売

事業名、内容及び実績	成果や課題等
※月別状況等はP34～35参照 ⑥ アウトリーチ活動支援対象把握者数：25名 ⑦ アウトリーチ活動：69回（実世帯20世帯） ⑧ 参加支援事業：視察、訪問、会議・研修会等への参加	業者等の地域社会資源の情報収集やつながりづくりを行いました。 今後も、これまで当協議会が培ってきた地域や関係機関とのネットワーク、地域づくりや相談支援のノウハウを十分に発揮し、事業を推進します。
若い世代の福祉活動等参加促進検討会 （仮称） (1) 第1回 ① 期 日：8年2月6日（金） ② 会 場：北上市総合福祉センター ③ 参加者：14名（青年会議所2名、市P連1名、学生4名、企業1名、社協6名） ④ 内 容：情報及び意見交換 「若い世代の福祉活動等への参加について」 (2) 第2回 ① 期 日：8年3月6日（金） ② 会 場：北上市総合福祉センター ③ 参加者：11名（青年会議所1名、学生2名、企業2名、社協6名） ④ 内 容：第1回と同様	若い世代（児童、生徒を含む）が地域活動や地域福祉活動に興味・関心を持ち、参画する仕組みづくりの検討等を行うことを目的に、「若い世代の福祉活動等参加促進検討会（仮称）」を設置し、北上青年会議所及び北上市PTA連合会役員、学生、企業と情報及び意見交換を行いました。 それぞれの立場や視点から地域活動等に対する思いや意見等を伺い、様々な角度から参加促進方法等を検討する機会になりました。 令和8年度も引き続き検討会を開催し、若い世代の地域活動等を参加促進するため仕組みづくり等を検討します。

(2) 社協がこれまで培ってきた小地域での福祉ネットワークを生かした地域支援体制の強化

事業名、内容及び実績	成果や課題等
1 コミュニティソーシャルワーカー（CSW）活動事業 (1) 通年活動 ① 配置人数：4名（専任2名、兼務2名） ② 有資格者数：11名 ③ 相談件数：108件（生活環境、生活困窮、除雪等） ④ 訪問件数：157件（個別ケース対応） ⑤ 訪問活動：89回（支部、事業所等） ⑥ ケース検討会：31回 ⑦ CSW会議：12回 ⑧ その他：246回（出前講座対応、研修受講等） (2) 支え合いマップの作成 作成済地区：23地区	新たに重層的支援体制整備事業を実施する中で専任のCSWを配置し活動を行いました。専任CSWの配置により相談及びアウトリーチ活動の強化を行い、個別課題や地域課題の掘り起こしや対応に当たることができました。 CSW会議では、把握した地域福祉課題等の情報共有や課題整理等を行い、関係機関への働きかけや今後のCSW活動の一助とすることができました。 一方、複合的な課題を抱えた困難ケースに対する対応能力の向上や課題解決に向けたコーディネート能力のスキルアップが更に必要です。 支え合いマップについては、活用状況等の実態を確認し、今後の取り組みを検討する必要があります。 【指標】 事業認知度10% 【結果】 事業認知度5%

事業名、内容及び実績	成果や課題等
2 生活支援コーディネーター活動事業 【市委託事業】 ① 配置人数：1名 ② 有資格者数：4名 ③ 相談件数：27件(当協議会事業、生活課題等) ④ 訪問件数：2件(個別ケース対応) ⑤ 訪問活動：15回(支部、事業所等) ⑥ SC会議：12回 ⑦ その他の活動：79回(養成講座、研修等)	第1層コーディネーター（北上市、社協）と第2層コーディネーター（地域包括支援センター）の定例会議に出席し、活動状況や課題等を協議し情報共有を図りました。 生活課題解決の一助とするため、民間企業の地域貢献活動の情報収集や新たな企業とつながりを持つことができましたが、具体の取り組みや活動の検討までには至りませんでした。 今後は、地域活動の担い手を確保する取り組みのほか、生活課題や地域課題を解決する仕組みづくりを研究します。 【指標】事業認知度10%、養成研修への参加 【結果】事業認知度6%、養成研修は1名参加

(3) 地域内の事業所や施設、企業と一体となったネットワークによる情報共有

事業名、内容及び実績	成果や課題等
1 広域社協事業 (1) 令和7年度北上・和賀広域社協総会 ① 期 日：7年6月11日（水） ② 会 場：ブランニュー北上 ③ 出席者：22名（うち北上社協12名） ④ 内 容： ・6年度事業報告及び収支決算について ・広域社協の解散について	6年度事業報告及び収支決算報告について審議を行いました。また、広域社協の役割や意義等の検証並びに両社協の現状や課題等の整理を踏まえ、当総会をもって広域社協を解散しました。 なお、両社協の地域福祉の推進や職員間の連携を図るため、今後も情報交換や交流を継続します。 【指標】広域社協事業計画により実施 【結果】令和7年度総会をもって解散
(2) 令和7年度北上・西和賀地区民生委員・児童委員研修会 ① 期 日：7年12月17日（水） ② 会 場：日本現代詩歌文学館講堂 ③ 参加者：178名 ④ 事業説明 内容：「北上市社会福祉協議会並びに西和賀町社会福祉協議会の事業について」 説明者：北上市社会福祉協議会 地域福祉課主査 菊池 一希 西和賀町社会福祉協議会 事務局長 菊地 嘉子 氏 ⑤ 講 演： 演題：「こころのサポーター養成研修について」 講師：岩手県障がい保健福祉課 こころの支援担当 主任主査 大森 美紀 氏	民生委員児童委員の資質向上を図るため、県南広域振興局花巻保健福祉環境センターと協働により研修会を開催しました。 事業説明では、北上市及び西和賀町両社協の事業を説明し、社協と民生委員・児童委員の関わりや連携して取り組んでいる事業、民生委員・児童委員に期待される役割等の理解を深めました。 講演では、こころのサポーターの役割や傾聴等を通じた近隣住民のサポート方法など、住民として、また、民生委員・児童委員としての住民との関わり方や支援方法等について理解を深めました。

基本目標 3 充実した福祉サービスの仕組みづくり

- 暮らしの自立支援センターきたかみや資金貸付事業では、物価等の高騰の影響を受けて生活に困窮している方々の相談に対応するとともに、令和6年度に引き続き赤い羽根共同募金「生活困窮者への緊急支援活動助成」を活用し、食料品等の配付を通じたアウトリーチや相談事業等により生活支援を行いました。
- 訪問介護事業では、介護人材不足や物価高騰による経費増加が続く中、限られた人員で利用者のニーズに応じたサービス提供に努めました。しかしながら、訪問介護員の人材確保が困難な状況が続き、安定的なサービス提供体制の継続が困難となったことから、市内事業所の状況等も踏まえて検討した結果、今年度で事業（事業所）を休止することとしました。
- 住まいの片付け応援事業では、支援対象世帯に対して、福祉関係者や近隣住民等の協力をいただき迅速な支援活動を行い、住環境の改善や福祉サービスの利用につなげることができました。
- ひきこもり地域支援センター事業では、重層的支援体制整備事業アウトリーチ等による継続支援事業と連携し、支援が必要な方等の把握に努めるとともに、本人や家族に寄り添いながら関係づくりや相談支援を行いました。
- フードバンク運営事業は、企業等が独自で食料品を集める取り組みが定着しており、寄付件数が増加し安定した運営につながっていると同時に、支え合う地域づくりの気持ちが広がっています。

- (1) 必要な人に必要なサービスを届けるため、身近なところでどんなことも相談できる体制づくり

事業名、内容及び実績	成果や課題等
1 福祉関連サービス等集約ガイド 北上市内の福祉サービス等を集約した冊子を作成しています。	制度・サービスの増加や多種多様化に対応し、社会資源の確認や情報収集を行い、冊子をリニューアルし作成しました。 情報を必要としている方や関係機関等での有効活用が図られるよう、周知に努めます。 【指標】 更新作成・配布、随時情報の更新 【結果】 更新作成

事業名、内容及び実績	成果や課題等
2 ひきこもり地域支援センター事業 【市委託事業】 ① ひきこもり相談支援員1名 ② 相談窓口の設置 ・新規相談者数：22名（うちLINE相談1件） ・継続相談者数：33名 ・相談内容：不登校、就労、生活困窮、家族関係など ・対応件数：延べ383回 ③ 個別相談会	ひきこもりに係る当事者や家族、関係機関からの相談に応じるとともに、複合的な課題を抱えた世帯に対しては、重層的支援体制整備事業と連携し包括的に対応することができました。 また、個別相談会では専門相談員が専門的な助言や情報提供を行い、相談者の不安等を軽減することができました。 不登校・ひきこもり支援の周知啓発として、講演会を開催し、市民や関係機関の方に広く理解をいただくことができました。 SNSやLINEでの情報提供により、当協議

事業名、内容及び実績	成果や課題等
・実施回数：9回 ・専門相談員：そらをみた会代表（岩手県ひきこもり支援センター相談員） 阿部 直樹 氏 ・相談者数：延べ21名（実人数7名） ④ LINEによる情報発信：10回 LINE登録者：23名 ⑤ 北上市ひきこもりネットワーク協議会 ・協議会への参加：2回 ⑥ 研修会 ・期 日：8年2月3日（火） ・会 場：日本現代詩歌文学館 ・参加者：85名 ・北上市内の取り組みの紹介 ・活動発表： 発表者：労働者協同組合ワーカーズ コープセンター事業団 北上笑いのたね事業所 所長 後藤 誠子 氏 ・講 演 演題：「ひきこもりの新たな理解～それぞれの歩みに寄り添う～」 講師：白梅学園大学 名誉教授 長谷川 俊雄 氏 ※月別状況等はP36参照	会事業につながることもあるため、必要な方にしっかり情報が届くよう、SNSの有効な活用方法について検討が必要です。 また、高校中退や中学卒業後の進路が未定の方からの相談も増加しているため、学校等との連携のあり方を検討します。 【指標】事業認知度10% 【結果】事業認知度6%

(2) すべての人にとって偏りのないサービスの充実を図るため、新たなサービスの開拓と既存サービスの随時見直し

事業名、内容及び実績	成果や課題等
1 日常生活自立支援事業・成年後見推進支援事業【県社協委託事業】 ① 専門員及び生活支援員数 ・専門員 2名、生活支援員 13名 ② 北上基幹社協管内生活支援員会議等 ・生活支援員会議 2回 ・関係機関連絡会議 1回(生活支援員会議含む) ③ 契約件数及び支援状況等 ・契約件数(今年度)：10件 ・契約件数(累計)：188件(支援中61件) ・専門員訪問回数：214回 ・支援員支援回数：649回 ※月別状況等はP36参照	金銭管理の難しい認知症高齢者及び障がい者等から預貯金通帳や印鑑を預かり、公共料金の支払いの手続き、生活費の払い戻し等のサービスと福祉サービスを利用するために必要な手続き等を支援しました。 なお、特にも高齢の利用者が多いことから、定期的な訪問による利用者の生活や体調の変化等の見守りを行い、ケース会議等で関係機関との情報共有を行いました。 また、成年後見制度の普及啓発と利用促進を図るため、引き続き相談窓口の設置や社協だより掲載による普及啓発を行いました。 【指標】事業認知度10% 【結果】事業認知度6%

④ 契約件数（市町別）

	令和8年3月末日 実利用者	契約件数
北上市	37	146
西和賀町	24	42
計	61	188

⑤ 契約件数（対象者別）

契約者 事 項	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合計	うち 生活保護
契約件数	117	42	27	2	188	
実利用者	26	22	13	0	61	17

事業名、内容及び実績	成果や課題等
2 車いす及びチャイルドシート貸出事業 (1) 車いす ① 利用者数：延べ63名 ② 保有台数：10台 (2) チャイルドシート ① 利用者数：31名 ② 保有台数：46台（うち寄付台数：15台） （今年度寄付：なし）	利用希望者に対して希望どおり貸出しを行うことができ、障がい者や高齢者、子育て世帯の社会参加や移動の一助となりました。 車いす及びチャイルドシートともに、利用者が増加傾向にあることから、広く必要な方が利用できるよう貸出要件等の見直しを行います。 【指標】 事業認知度 20% 【結果】 事業認知度 車いす17%、 チャイルドシート11%

事業名、内容及び実績	成果や課題等
3 在宅高齢者等配食サービス事業【市委託事業】 ① 利用登録者数：30名 ② 配食日数：192日 ③ 提供食数：延べ2,136食 ④ 調理ボランティア人数：延べ687名 ⑤ 配送ボランティア人数：延べ951名 ※月別状況等はP36参照	在宅で調理の困難な一人暮らし高齢者、高齢者のみの世帯に対して、調理及び配送ボランティアの協力をいただき、栄養のバランスが取れた食事の提供、安否確認及び孤独感の軽減を図りました。 また、季節に応じた献立作成や行事食を提供するとともに、保育施設給食との献立交換を通じ、園児と高齢者が福祉への親しみと関心を高めました。 【指標】 アンケート実施準備 保育施設等の献立交換3カ所 【結果】 アンケート未実施 保育施設等の献立交換3カ所

事業名、内容及び実績	成果や課題等
4 北上おげんき発信事業 利用登録者数：11名 ※月別状況等はP37参照	見守りが必要な高齢者等を対象に、毎日の電話での安否確認による見守りを行い、不安の解消につなげました。 また、利用者の日々の発信状況や会話の様子等から、必要に応じてケアマネジャーやサービス提供事業者と情報共有を行う等、利用者の生活状況にあわせた支援を行い、自力での発信が困難になった利用者を必要なサービスにつなげました。 【指標】事業認知度 5 % 【結果】事業認知度 4 %

事業名、内容及び実績	成果や課題等
5 障がい者等生活支援事業【市委託事業】 ※事業実施を見送り	視覚障がい者の自立生活を支援することを目的に料理教室を開催する予定でしたが、事業のあり方等を検討する必要性が生じたことから実施を見送りました。 参加者が固定化や減少傾向にあることから、市とニーズや事業のあり方等を協議します。 【指標】延べ参加者10名 【結果】実施を見送り

事業名、内容及び実績	成果や課題等
6 声及び点字広報作成事業【市委託事業】 (1) 声の広報作成事業 - 朗読内容及び回数 - 広報きたかみ 12回 社協だより 4回 - 市議会だより 4回 敬愛園だより 12回 - ふれあい119 2回 物故者 12回 - 月刊さくらホール 12回 - 総発送数：延べ428回 - 利用者数：13名、2施設 - 朗読団体：サークルのぎく 13名 サークルせきれい 12名	広報きたかみや社協だより等の掲載内容を声の広報（CDまたはカセットテープに録音）として作成し、視覚障がい者等に情報提供しました。 また、録音した声の広報をボランティア会員内で確認するなど、音読の速さや発音等の技術の向上に努めました。 【指標】事業認知度10% 【結果】事業認知度 7 % ※声の広報及び点字広報作成事業 同一指標
(2) 点字広報作成事業 - 点訳内容及び回数 - 広報きたかみ 12回 - 総発送部数：22部 - 配架先数：2施設 - 点字作成団体：北上点訳の会 18名	広報きたかみを点訳し、点字広報として公共施設に配架し周知を図りました。 また、定期的に勉強会を開催し、ボランティア会員同士の交流を図るとともに、点訳ミスの有無等について確認し、技術の向上に努めました。
(3) 声の広報・点字広報利用者とボランティアの交流会	声の広報・点字広報利用者と音声訳・点訳ボランティアが一堂に会し、情報交換や意見交換・交流を深めることを目的に開催しています。 令和6年度に開催したこと、また、事業実施等

事業名、内容及び実績	成果や課題等
	に大きな変更がないことから、今年度は開催を見送りました。

事業名、内容及び実績	成果や課題等
7 居宅介護支援事業 契約者数：36名 ※月別状況等はP37参照	利用者が自立した生活を継続できるよう、心身の状態や生活環境等を総合的に評価し、ケアマネジメントの継続的な実施により、個別の状況に応じた支援を行いました。また、地域包括支援センターや医療・介護・福祉サービス事業者等と連携を密にしながら、困難ケースも含めきめ細やかな支援を行いました。 加えて、利用者の重度化や多様化するニーズに対応するとともに、感染症対策及び業務継続計画（BCP）を踏まえた支援体制の確保に努めました。 引き続き、きたかみ型地域包括ケアビジョンの方針に沿い、地域とのつながりを重視しながら、利用者の在宅生活の質の向上に寄与できるよう支援します。 【指標】継続実施、継続可否を検討 【結果】継続実施、検討を継続

事業名、内容及び実績	成果や課題等
8 障がい者相談支援事業 契約者数：41名 ※月別状況等はP37参照	障がい者や家族等の相談に応じ、利用者が希望する生活を実現するため、必要なサービスの情報提供や社会資源を活用しながら利用者の抱える課題解決を行い、社会生活力の向上に向けて障がいの特性や生活段階に沿ったサービス等利用計画を作成しました。また、支援困難ケースや複合的な課題を抱えるケースに対しても関係機関と連携しながら支援を行い、本人主体の意思決定支援を重視し、モニタリングを実施しました。 加えて、虐待防止及び権利擁護の推進並びに業務継続計画（BCP）を踏まえた相談支援体制の確保に努めました。 引き続き、障がい者が自立した生活を送ることができるよう、医療機関や障がい福祉サービス事業者等と連携し、北上市障がい者プランに沿った事業を実施するとともに、高齢障がい者が介護保険制度へスムーズに移行し、切れ目なくサービスを利用できるよう支援します。 【指標】継続実施、継続可否を検討 【結果】継続実施、検討を継続

事業名、内容及び実績	成果や課題等
9 訪問介護事業 (1) 訪問介護事業（介護保険） ① 契約者数：12名 ② 利用者数：延べ124名 ③ 派遣回数：1,223回 ※実績は令和7年12月末日のもの ※月別状況等はP38参照 【令和7年度で事業休止】	利用者が自立した生活を継続できるよう、心身の状態や生活環境等を総合的に評価し、ケアマネジメントの継続的な実施により、個別の状況に応じた支援を行いました。また、地域包括支援センターや医療・介護・福祉サービス事業者等と連携を密にしながら、きめ細やかな支援を行いました。 一方、訪問介護員の人材確保が困難な状況が続き、事業運営に支障が生じてきていたことから、市内事業所の状況等も踏まえて検討した結果、今年度で事業を休止することとしました。 このことから、利用者及び家族、関係機関等に事業所休止に伴う説明を行うとともに、全ての利用者を他事業所に引き継ぎを行いました。 【指標】継続実施、継続可否を検討 【結果】継続実施、事業休止
(2) 障害者訪問介護事業（障害者総合支援法） ① 契約者数：9名 ② 利用者数：延べ200名 ③ 派遣回数：1,305回 ※実績は令和8年2月末日のもの ※月別状況等はP38参照 【令和7年度で事業休止】	障がい者が自立した日常生活を送ることができるよう、一人ひとりの心身の状況に応じて、身体介護、家事援助、通院介助、同行援護、重度訪問介護、その他生活全般にわたる援助を行い、在宅での生活を支援しました。 一方、訪問介護員の人材確保が困難な状況が続き、事業運営に支障が生じてきていたことから、市内事業所の状況等も踏まえて検討した結果、今年度で事業を休止することとしました。 このことから、利用者及び家族、関係機関等に事業所休止に伴う説明を行うとともに、全ての利用者を他事業所に引き継ぎを行いました。 【指標】継続実施、継続可否を検討 【結果】継続実施、事業休止

事業名、内容及び実績	成果や課題等
10 障害者等移動支援事業（障害者総合支援法） ① 契約者数：6名 ② 利用者数：延べ33名 ③ 派遣回数：70回（買物、趣味活動等） ※実績は令和8年2月末日のもの ※月別状況等はP38参照 【令和7年度で事業休止】	障がい者の外出及び余暇活動等の移動を支援しました。 一方、移動介護員の人材確保が困難な状況が続き、事業運営に支障が生じてきていたことから、市内事業所の状況等も踏まえて検討した結果、今年度で事業を休止することとしました。 このことから、利用者及び家族、関係機関等に事業所休止に伴う説明を行うとともに、全ての利用者を他事業所に引き継ぎを行いました。 【指標】継続実施、継続可否を検討 【結果】継続実施、事業休止

事業名内容及び実績	成果や課題等
11 成年後見利用支援事業 受任者数：1名（保佐人1名）	認知症、知的障がい、精神障がい等で判断能力の不十分な方が、日常生活を送る上で契約や財産管理について不利益を被ることがないように、当協議会が成年後見人として、受任者の生活を支援しました。 【指標】事業認知度10% 【結果】事業認知度9%

事業名、内容及び実績	成果や課題等
12 訪問理美容事業 （ふれあいのまちづくり事業） ① 利用者実数：20名 ② 利用回数：28回（理容店24回、美容店4回） ※月別状況等はP33参照	外出が困難な寝たきり高齢者や重度障がい者の希望者に対し、岩手県理容及び美容生活衛生同業組合北上支部や民生委員児童委員の協力を得て、自宅を訪問し理容・美容（整髪）を行いました。 事業を通じて、特に理美容店の方々に地域の要支援者等の実態や地域福祉に理解をいただく機会となっています。 利用回数が減少傾向にあるため、利用状況等の実態を確認し、今後の取り組みを検討します。 【指標】事業認知度15%、利用実態調査実施 【結果】事業認知度11%、利用実態調査未実施

事業名、内容及び実績	成果や課題等
13 住まいの片づけ応援事業 ① 相談件数：5件（片付けに関する相談4件、事業内容等に関する照会1件） ② 訪問件数：2件 ③ 打合会議：2回 ④ 実施件数：2世帯2回（うち1世帯は地域主体で実施） 【1回目】 ・期 日：7年4月23日（水） ・活動人数：11名 ・連携機関：市長寿介護課、地域包括支援センター、福祉協力員、自治会、親族 【2回目】 ・期 日：7年6月17日（火） ・活動人数：11名 ・連携機関：地域包括支援センター、民生児童委員、地域住民 ⑤ 講師派遣：1回（包括圏域ケアマネ情報交換会）	自宅又は敷地内にごみが放置され、生活に支障がある世帯を対象に、地域や近隣との関係を構築しながら、地域で安心して生活することができるよう生活環境の改善を支援しています。 地域の民生児童委員や地域包括支援センター等の関係機関と一緒に活動することにより、清掃活動後の継続的な見守りや連携をスムーズに行うことができます。 活動の際の協力者の確保が課題となっていることから、企業や関係機関を含めたボランティアの募集など実施体制の仕組みを検討します。 【指標】随時事案に応じて実施対応 【結果】相談全てに実施対応

(3) 同じ悩みを抱えている人、目的をもった人同士の集まりの場づくり

事業名、内容及び実績	成果や課題等
1 ふれあいデイサービス事業【市委託事業】 ① 開設行政区：125行政区 ② 開設ふれデイ箇所：148箇所 ③ 実施回数：延べ1,574回 ④ 利用者数：延べ16,012名（参加率23.8%） ⑤ ふれデイ協力者数：延べ7,822名 ※月別状況等はP39参照	地域の自治公民館等を会場に、高齢者の介護予防活動（趣味活動、レクリエーション活動等）を実施し、高齢者の生きがいづくりや社会参加、孤独感の軽減等を図りました。 関係者の協力のもと、おおむね新型コロナウイルス感染症発生以前と同様、運動や世代交流、移動を伴う実施内容により、充実した活動を行うことができました。 今後は、広い世代の参加による地域づくりの場としての活用や新たな担い手の育成など、事業のあり方を研究・検討します。 【指標】参加率25%、世代間交流を行っているふれデイ数15カ所 【結果】参加率23.8%、世代間交流を行っているふれデイ数11カ所

事業名、内容及び実績	成果や課題等
2 障害者地域活動支援センター事業 【障害者総合支援法】 ① 創作活動及び機能訓練：7教室 ② 契約者数：32名 ③ 開催回数：99回 ④ 利用者数：延べ490名 ※月別状況等はP39参照	障がい者の自立の促進、生活の向上が図られるよう、通所による創作活動及び機能訓練のサービス提供を行い、障がい者の社会参加と福祉の増進を図りました。 障がい状況により、支援を必要とする方が多く利用する教室にはボランティアに協力いただき、利用者が安心・安全に活動できる環境づくりに努めました。また、新たな利用者が増え、利用者及び講師の意欲向上等につながりました。 【指標】利用登録者数40名、事業のあり方検討 【結果】利用登録者数32名、事業のあり方は次期障がい者プランの策定に合わせて検討

事業名、内容及び実績	成果や課題等
3 子育て支援事業 (1) 子育てサロン ① 開催回数：6回【第3木曜日、10時～正午】 ② 会場：北上市総合福祉センター ③ 参加者数：延べ73名 ④ ボランティア活動人数：延べ30名 ※月別状況等はP39参照 (2) 子育て用品お譲り会 ※ニーズ調査を実施することとし中止	子育て支援ボランティア「パレット」と協働で、乳幼児と保護者を対象に【あそびのお部屋】を開設し、親子遊びや情報交換、育児相談等を通じて、子育ての不安や悩みを軽減しました。 令和6年度から開催を隔月開催とし、内容の充実を図ることにより、親子や参加者同士の交流も活発になり、継続して参加する親子が増加しています。 子育て用品お譲り会は、改めてニーズ調査を行った上で実施の判断をすることとし、今年度の実施は中止しました。

事業名、内容及び実績	成果や課題等
	【指標】 サロン開催 年6回、子育て用品譲渡会開催 年1回 【結果】 サロン開催 年6回、子育て用品譲渡会開催 未実施

(4) 生活困窮者等に対する包括的支援と対応の強化

事業名、内容及び実績	成果や課題等
1 生活困窮者自立支援事業【市委託事業】 (自立相談支援、家計改善支援、就労準備支援、子どもの学習支援) ① 暮らしの自立支援センターきたかみ設置主任相談支援員1名、相談支援員兼就労支援員1名、家計改善支援員1名、就労準備支援員1名、学習相談支援員1名) ② 相談者実数：352名 ③ 相談申込（同意）者数：38名 ④ プラン策定者数：35名（再プラン4名を含む） ⑤ 相談方法及び内容 ※月別状況等はP40参照 ⑥ 無料司法書士相談 ・相談件数：8件 ・相談内容：債務整理3件、相続5件	年齢や属性に関わらず広く相談に対応するとともに、複合的な課題を抱えた世帯に対しては、重層的支援体制整備事業と連携しながら、個別ケースの状況に応じて包括的・継続的な支援を行いました。 物価高騰等の影響を受け、生活が困窮した方や就労が安定せず収入が不安定な方等からの相談が増加しましたが、関係機関と連携を図るとともに、赤い羽根共同募金助成を活用した食料品等の提供を行うなど自立に向けた支援を行いました。 住居確保に関する相談が増加傾向にあり、居住支援の取り組みを検討・研究する必要があります。 【指標】 プラン作成による要支援者の自立の割合60% 【結果】 プラン作成による要支援者の自立の割合57%
西和賀町生活困窮者自立支援事業 (自立相談支援) 【県委託事業】 ① 相談支援員1名 ② 相談者実数：16名 ③ 相談申込（同意）者数：1名 ④ プラン策定者数：1名 ⑤ 相談方法及び内容 ※月別状況等はP41参照	西和賀町に居住する生活困窮者の自立の促進を支援するため、本人の状態に応じた包括的かつ継続的な相談支援を実施しました。 なお、業務の一部を西和賀町社会福祉協議会に再委託し、暮らしの自立支援センターきたかみ相談支援員と連携を図りながら、きめ細やかな支援に努めました。 今後も、支援を必要とする方を広く把握するため、事業の周知やアウトリーチ活動を積極的に行い、生活困窮者の自立に向けて包括的・伴走型の支援を行います。

事業名、内容及び実績	成果や課題等
2 フードバンク運営事業 ① 寄付件数：342件（うちフードポスト65件） ② 提供件数：286件 ※月別状況等はP42参照	当協議会相談者のうち、緊急に食料支援が必要な生活困窮者等の世帯に対して支援を行い、食の確保や自立に向けた意欲の向上を図ることができました。 新たな寄付の申し出や定期的にフードドライブを実施する企業や団体等の増加、また、子ども食堂への寄付や提供を希望する寄付者・団体も増加

事業名、内容及び実績	成果や課題等
2-1 物品貸出 ① 貸出件数：9件 ② 貸出内容：携帯電話、カセットコンロ、ランタン、電気ポット等	しており、地域の支え合いの取り組みが広がっています。 【指標】 事業認知度25% 【結果】 事業認知度22% ライフラインが一時的に停止し、生活に支障がある相談者等に対して、必要物品を貸し出し、生活支援及び就労支援等を行いました。

事業名、内容及び実績	成果や課題等
3 子どもの学習支援事業（まるまる学び塾） 【市委託事業】 ① 開催回数：50回 ・毎月第1及び第3木曜日17:00～19:00 ・毎月第2及び第4土曜日10:30～14:30 ・夏休み及び冬休み各5日10:30～14:30 ② 会 場：北上市生涯学習センター 保健・子育て支援複合施設ほくほ 北上市総合福祉センター ③ 登録者数：28名（小学生21名、中学生7名） ④ 参加者数：延べ421名 ⑤ ボランティア活動人数：延べ195名 ⑥ それぞれの進路相談会 ・期 日：7年10月18日（土） ・会 場：北上市総合福祉センター ・参加者：42名（生徒・保護者26名、教員1名、関係者15名） ※月別状況等はP42参照	家庭の事情や経済的な理由等で学習する環境が十分でない子どもたちを対象に、学習支援ボランティアの協力を得て学習支援と学習の場（居場所づくり）の提供を行いました。 登録世帯の子ども達は、ボランティア等の大人と関わる中で、自己肯定感を高めながら広い視野を持つことができる場となっています。 なお、進路相談会では進学・就職など様々な進路があることを紹介・周知し、将来についての不安を少しでも軽減することができました。 【指標】 利用登録者数25名 【結果】 利用登録者数28名

事業名、内容及び実績	成果や課題等
4 地域まるまる食堂（子ども食堂）事業 ① 開催回数：11回 ② 会 場：北上市生涯学習センター ③ 参加者数：延べ342名（小学生107名、中学生27名、保護者等73名、一般44名 ボランティア91名） ④ 内 容：あそびの時間、まなびの時間、食堂開設 ⑤ 市内子ども食堂数：7カ所 ⑥ 開設相談：1件 ※月別状況等はP43参照	学習支援事業にあわせて「地域まるまる食堂」（子ども食堂）を実施しました。 子どもだけではなく、保護者や地域の方にも参加していただき、世代間交流を行うことでみんなの居場所となっています。 また、子ども食堂の開設に係る相談にも随時対応し、地域づくり等の支援を行うことができました。 【指標】 月1回開催、開設相談に随時対応 【結果】 月1回開催、開設相談1件

事業名、内容及び実績	成果や課題等
5 たすけあい資金貸付事業 ① 貸付状況： 61件 1,180,000円 ② 償還状況： 117件 933,000円 ③ 貸付残高： 102件 2,246,000円 （貸付残高は徴収不能欠損処理後） ※月別状況等はP43参照	低所得世帯等に生活費や応急的な費用を無利子で貸付けしました。 貸付のうち、特に物価高騰の影響を受けて水道光熱費の支払いが困難な方に対する貸付けが増加しましたが、生活困窮者自立支援事業やフードバンク運営事業と連携し、自立に向けて効果的な対応をすることができました。 【指標】 事業認知度15% 【結果】 事業認知度12%

事業名、内容及び実績	成果や課題等
6 生活福祉資金貸付事業 （実施主体：岩手県社協、相談窓口：当協議会） ① 貸付状況： 30件、 23,394,000円 ② 償還状況： 延べ4,880件、 27,984,907円 ③ 貸付残高： 1,076件、 449,822,055円 ※月別状況等はP44～47参照	低所得世帯等に対して、修学資金や生活費等の資金を低利子（一部無利子）で貸付けしました。 借受世帯等のうち、物価高騰等の影響を受け生活が困窮した世帯に対して、赤い羽根共同募金助成を活用した食料品等の提供を実施し、自立に向けた支援を行いました。 【指標】 事業認知度15% 【結果】 事業認知度12%

基本目標 4 暮らしやすい地域環境づくり

- 買物支援事業では、「買い物支援に係る事業所及び内容一覧」の更新に役立てるため活用状況等の調査を行うとともに、北上市社会福祉法人連絡会が実施した取り組みに参画・協力しました。
- 県内各広域社協圏域において、「災害ボランティアセンター設置・運営に係る研修訓練」が開催され、当協議会職員も支援社協として参加し、災害ボランティアセンターの設置・運営や関係機関との連携強化及び職員の資質向上を図りました。

- (1) 子どもからお年寄りまで地域で生活するうえでの環境面の不安の解消と、安心して過ごせるまちづくり

事業名、内容及び実績	成果や課題等
1 買物支援事業 ① 買い物支援に係る事業所一覧更新作成 ・掲載事業所数：16事業所 ・一覧送付先：86カ所（事業所、関係機関等） ・ホームページへの掲載 ② 買い物支援に係る事業所及び内容一覧の活用状況調査	「買い物支援に係る事業所及び内容一覧」の活用状況及び一覧の課題、要望等を把握し、今後の改善に役立てることを目的に活用状況調査を行いました。 調査を通じ、内容の不明瞭さや周知不足等の課題等が明らかになったことから、一覧を更新する際に改善の参考とします。 また、社会福祉法人連絡会が取り組む買物支援

事業名、内容及び実績	成果や課題等
	事業に当協議会も参画・協力しました。 【指標】 買い物支援に係る一覧随時更新 法人連絡会の買物支援に協力 【結果】 買い物支援に係る一覧未更新（更新に向けた活用状況調査を実施） 法人連絡会の買物支援に協力実施

内容及び実績	成果や課題等
2 ふれあい移送サービス事業 ① 移送車両：3台 (車いす搭乗2台、回転シート1台) ② 利用登録者数：46名 ③ 利用人数：延べ291名 ④ 運転ボランティア人数：延べ284名 ⑤ 事務局対応：7回 ⑥ 介助ボランティア人数：延べ 0名 ⑦ 新規ボランティア登録人数：1名 ※月別状況等はP48 参照	既存の公共交通機関を利用できない高齢者や身体障がい者等を対象に、通院や公共機関での諸手続きの際に移送サービスを提供し、生活支援を行いました。 事業の周知により利用希望者が増加傾向にあることから、ボランティアの確保・増員に努めながら安定した事業運営を行います。また、物価高騰等を踏まえ、利用料金等の見直しを検討します。 【指標】 充足率100% 【結果】 充足率 86%

事業名、内容及び実績	成果や課題等
3 地域福祉活動応援事業 ① 助成団体：0団体 ② 助成金額：0円 ※令和6年度から共同募金の公募助成に移行	令和6年度から共同募金公募助成事業として、地域福祉を推進する先進的な活動や地域の新たな福祉課題に取り組む活動等を行う団体に対して助成を行い、地域福祉活動を応援しています。 今年度は公募に対する応募申請はありませんでした。 必要とする地域・団体等に活用いただけるよう更に広報やホームページ等で周知を行い、事業の認知度向上を図るとともに先進的な活動の発掘を行います。 【指標】 助成団体数3団体 【結果】 助成団体数0団体

事業名、内容及び実績	成果や課題等
4 災害ボランティアセンター事業 (1) 広域市町村ネットワーク連絡会議への参加 ①期 日：7年9月10日(水) ②会 場：西和賀町複合型商工会館 ③出席者：24名 ④内 容：いわてNPO災害支援ネットワークの	災害ボランティアセンターに係る平時及び災害時の役割分担、連携・協働の在り方を確認及び協議するとともに、平時から関係機関及び団体の「顔の見える関係」のネットワークを構築し、様々な取り組みを円滑に行うことを目的に「広域市町村ネットワーク連絡会議」が西和賀町で開催され、各機関等の災害対応の取り組みや有事の役割分担について協議しました。

事業名、内容及び実績	成果や課題等
活動紹介について 岩手県防災ボランティア活動推進指針について 大船渡市林野火災への支援について 各機関・団体における災害対応の取り組みについて 有事の役割分担について (2) 災害ボランティアセンター設置・運営に係る研修訓練の実施及び参加 ① 北上・和賀広域圏（北上市・西和賀町） ・期 日：7年9月10日（水） ・会 場：西和賀町農業者トレーニングセンター ・参加者：4名（北上市社協分） ② 胆江広域圏（奥州市、金ケ崎町） ・期 日：7年10月31日（金） ・会 場：奥州市総合福祉センター ・参加者：3名（北上市社協分）	また、「災害ボランティアセンター設置・運営に係る研修訓練」が県内各広域社協圏域で開催され、市町村社協災害時相互支援協定に基づき、支援社協として当協議会職員も参加し、災害ボランティアセンターの設置から運営までの流れ、運営時の留意点等を共有し、関係機関との連携強化及び職員の資質向上を図りました。 【指標】災害ボランティアセンター設置・運営訓練実施 有事の際速やかに設置、災害派生時の職員派遣 【結果】災害ボランティアセンター設置・運営訓練実施 市内における有事未発生

(2) すべての人が、支援が必要な人を理解することができる地域づくり

事業名、内容及び実績	成果や課題等
1 社協出前講座（病気及び障がい理解編） ① 派遣回数：8回 ・学童保育所：1回 ・小学校：7回 ② 参加人数：延べ507名 ③ 体験用具の貸出し：2回 ・小学校：2回	地域で生活する認知症や障がい者等に対する理解を深めていただくため、学校や団体等からの要請に対応しています。 学校によっては限られた時間での体験になることもありましたが、体験前に障がいを持つ方への接し方等について講義を行い、障がい者に対する理解を深めることができました。 なお、当協議会Facebookを活用し、体験の様子等の情報発信を積極的に行いました。 【指標】講師派遣15回、延参加者数500名 【結果】講師派遣8回、延参加者数507名

5 地域福祉を推進するための基盤づくり

- 理事会及び評議員会等の各種会議開催を通じて、地域課題や事業等に対する意見等を聞きながら、その改善に努め、更なる経営の活性化に努めました。
- 北上市社会福祉法人連絡会に参画し、地域における公益的な取り組みに向けた協議を進めました。
- 福祉関係者・団体、民間の福祉サービス提供事業者及び行政機関と協働し、また、協力を得ながら地域福祉を推進しました。
- 当協議会の事業を推進するため、市内各世帯等から会費や寄付の協力をいただき、事業の推進や運営に活用しました。
- 第5次北上市地域福祉活動計画における、令和7年度の指標の達成に向けて事業活動を実施しました。

(1) 社会福祉協議会の運営

① 三役会議の開催状況

開催期日及び出席者数	
第1回：7年4月15日（火） 出席者 9名（役員4名、職員5名）	第7回：7年10月15日（水） 出席者 8名（役員3名、職員5名）
第2回：7年5月15日（木） 出席者 9名（役員4名、職員5名）	第8回：7年11月17日（月） 出席者 9名（役員4名、職員5名）
第3回：7年6月16日（月） 出席者 9名（役員4名、職員5名）	第9回：7年12月15日（月） 出席者 7名（役員4名、職員3名）
第4回：7年7月15日（火） 出席者 9名（役員4名、職員5名）	第10回：8年1月15日（木） 出席者 9名（役員4名、職員5名）
第5回：7年8月21日（木） 出席者 8名（役員3名、職員5名）	第11回：8年2月16日（月） 出席者 9名（役員4名、職員5名）
第6回：7年9月15日（水） 出席者 8名（役員4名、職員4名）	第12回：8年3月2日（月） 出席者 9名（役員4名、職員5名）

② 理事会の開催状況

開催期日	議題及び協議事項
第1回 ・7年5月29日（木） ・出席者 理事10名 監事3名	(1) 北上市社会福祉協議会表彰推薦基準の一部改正について (2) 令和6年度北上市社会福祉協議会事業報告について (3) 令和6年度北上市社会福祉協議会一般会計収支決算について (4) 北上市社会福祉協議会評議員選任候補者の推薦について
第2回 ・7年6月29日（木） ・出席者 理事11名 監事3名	(1) 北上市社会福祉協議会会長の選定について (2) 北上市社会福祉協議会副会長の選定について (3) 北上市社会福祉協議会常務理事の選定について (4) 北上市社会福祉協議会福祉サービス事業に関する苦情解決第三者委員の選任について (5) 北上市社会福祉協議会福祉基金運営委員の委嘱について
第3回 ・7年8月28日（木） ・出席者 理事11名 監事3名	(1) 第34回北上市民福祉大会被表彰者の決定について (2) 令和7年度歳末たすけあい募金「まごころ応援金」の配分について (3) 北上市社会福祉協議会評議員選任・解任委員の選任について

開催期日	議題及び協議事項
第4回 ・ 7年10月30日（木） ・ 出席者 理事8名 監事2名	(1) 当協議会事業及び地域福祉活動を推進する上での成果や課題等について
第5回 ・ 7年12月19日（金） ・ 出席者 理事11名 監事3名	(1) 北上市社会福祉協議会職員の給与規程の一部改正について (2) 北上市社会福祉協議会総合福祉センター管理運営規程の一部改正について
第6回 ・ 8年3月16日（月） ・ 出席者 理事11名 監事3名	(1) 北上市社会福祉協議会非常勤職員取扱要領の一部改正について (2) 北上市社会福祉協議会臨時的任用職員取扱要領の一部改正について (3) 令和7年度北上市社会福祉協議会一般会計収支補正予算（第1号）について (4) 令和8年度北上市社会福祉協議会事業計画について (5) 令和8年度北上市社会福祉協議会一般会計収支予算について

③ 評議員会の開催状況

開催期日	議題及び協議事項
第1回 ・ 7年6月19日（木） ・ 出席者 評議員16名 理 事4名 監 事3名	(1) 令和6年度北上市社会福祉協議会事業報告について (2) 令和6年度北上市社会福祉協議会一般会計収支決算について (3) 北上市社会福祉協議会理事の選任について (4) 北上市社会福祉協議会監事の選任について
第2回 ・ 8年3月23日（月） ・ 出席者 評議員15名 理 事4名 監 事3名	(1) 北上市社会福祉協議会職員の給与規程の一部改正について (2) 北上市社会福祉協議会総合福祉センター管理運営規程の一部改正について (3) 令和7年度北上市社会福祉協議会一般会計収支補正予算（第1号）について (4) 令和8年度北上市社会福祉協議会事業計画について (5) 令和8年度北上市社会福祉協議会一般会計収支予算について (6) 北上市社会福祉協議会理事の選任について

④ 監事会の開催状況

開催期日	監査内容
第1回 ・ 7年5月22日（木） ・ 出席者 監事3名 理事3名	(1) 令和7年3月末日における北上市社会福祉協議会事業執行状況並びに一般会計執行状況について (2) 令和6年度北上市社会福祉協議会事業報告並びに一般会計収支決算について
第2回 ・ 7年8月28日（木） ・ 出席者 監事3名 理事3名	(1) 令和7年6月末日における北上市社会福祉協議会事業執行状況並びに一般会計執行状況について
第3回 ・ 7年11月27日（木） ・ 出席者 監事3名 理事4名	(1) 令和7年9月末日における北上市社会福祉協議会事業執行状況並びに一般会計執行状況について

開催期日	監査内容
第4回 ・ 8年2月19日（木） ・ 出席者 監事3名 理事3名	(1) 令和7年12月末日における北上市社会福祉協議会事業執行状況並びに一般会計執行状況について

⑤ 市の監査状況

開催期日	議題及び協議事項
社会福祉法人指導監査 ・ 7年11月21日（金） ・ 出席者 理事2名 監事2名	(1) 社会福祉法第56条第1項の規定に基づく指導監査

⑥ 評議員選任・解任委員会の開催状況

開催期日	議題及び協議事項
第1回 ・ 7年6月2日（月） ・ 出席者 委員5名 事務局3名	(1) 北上市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会委員長の互選について (2) 北上市社会福祉協議会評議員の選任について

⑦ 支部長会議の開催状況

開催期日及び出席者数	
第1回：7年4月15日（火）	出席者 40名（支部長13名、役職員27名）
第2回：7年5月15日（木）	出席者 41名（支部長13名、役職員28名）
第3回：7年10月20日（月）	出席者 27名（支部長13名、役職員14名）
第4回：8年2月19日（木）	出席者 27名（支部長13名、副支部長1名、役職員13名）

⑧ 職員会議の開催状況

開催期日及び出席者数			
第1回：7年4月15日（火）	出席者 31名	第7回：7年10月15日（水）	出席者 28名
第2回：7年5月15日（木）	出席者 32名	第8回：7年11月17日（月）	出席者 32名
第3回：7年6月16日（月）	出席者 31名	第9回：7年12月15日（月）	出席者 28名
第4回：7年7月15日（火）	出席者 30名	第10回：8年1月15日（木）	出席者 30名
第5回：7年8月21日（木）	出席者 30名	第11回：8年2月16日（月）	出席者 26名
第6回：7年9月16日（火）	出席者 26名	第12回：8年3月2日（月）	出席者 31名

(2) 社協支部活動運営費の助成（単位：円）

支部名	支部運営費	福祉協力員 活動費	小地域ネットワーク事業費		合 計
			ふれまち	住民グループ	
黒沢尻北	738,000	27,000	23,500	347,500	1,136,000
黒沢尻東	622,000	35,000	23,200	656,875	1,337,075
黒沢尻西	556,000	31,000	13,900	383,550	984,450
立 花	232,000	9,000	2,000	103,000	346,000
飯 豊	675,000	32,000	21,250	285,450	1,013,700
二 子	306,000	14,000	2,000	79,900	401,900
更 木	165,000	13,000	4,000	88,800	207,800
黒 岩	156,000	8,000	22,700	58,900	245,600
口 内	189,000	18,000	2,000	83,500	292,500
稲 瀬	150,000	6,000	8,900	148,125	313,025
相 去	545,000	20,000	11,375	448,425	1,024,800
鬼 柳	403,000	15,000	15,800	122,400	556,200
江 釣 子	690,000	32,000	9,000	368,350	1,099,350
和 賀	849,000	64,000	36,000	861,825	1,810,825
合 計	6,276,000	324,000	195,625	4,036,600	10,832,225

(3) 総合福祉センター等の管理及び運営

内容及び実績	成果や課題等
① 北上市総合福祉センター ・利用件数：1,046 件 ・利用者数：18,797 名 ② 和賀町総合福祉センター ・利用件数：315 件 ・利用者数：3,905 名 ※詳細は P 48～49 参照	北上市及び和賀町総合福祉センターは当協議会の事務所となっているほか、住民主体の地域福祉活動の拠点として貸出ししています。また、ボランティア団体や趣味の会等の活動の場としても多様に利用されています。 施設管理にあたっては、北上市総合福祉センター施設内照明を LED 照明に切り替えしたほか、適正な管理運営や経費の節減に努めました。今後も更なる経費節減に取り組みます。 両センターとも経年による建物の修繕及び改修について、費用の確保等の検討が必要です。

(4) 社会福祉法人連絡会の組織化

内容及び実績	成果や課題等
1 総 会 ① 期 日：7 年 4 月 23 日（水） ② 会 場：ホテルシティプラザ北上 ③ 出席者：会場 9 法人、書面 10 法人 ④ 内 容： ・6 年度事業報告及び収支決算について ・会員の加入について ・役員の選任について ・7 年度事業計画及び収支予算について	多様化及び複雑化する地域課題や社会福祉に関するニーズに対応するため、各法人の取り組みや専門性を活かしながら、法人間の連携や協働体制の強化を図り、地域における公益的な取り組みを実施し、市民の福祉向上や地域福祉を更に推進することを目的に北上市社会福祉法人連絡会が組織化され、当協議会も参画し事務局を担っています。 今年度は新たに 1 法人が加入し、市内 20 法人により組織化されています。

内容及び実績	成果や課題等
2 幹事会 (1) 第1回 ① 期 日：8年3月10日（水） ② 会 場：北上市総合福祉センター ③ 出席者：市内社会福祉法人18人、23名 ④ 内 容： ・規約の一部改正について ・7年度事業報告及び収支決算について ・8年度事業計画及び収支予算について ・8年度総会について 3 監事会 ① 期 日：7年4月8日（火） ② 内 容：6年度事業報告及び収支決算 4 分科会 (1) 地域課題研究分科会 ① 会議開催回数：4回 ② 内 容： 買い物支援事業の実施及び検証 新たな地域課題の調査及び研究 ③ 買い物支援事業の試行実施 【和賀地区】事務局：社協 ・利用登録者数：8名 ・実施回数：6回 第1回：7年7月18日（金） 第2回：7年8月20日（水） 第3回：7年9月19日（金） 第4回：7年10月21日（火） 第5回：7年11月20日（木） 第6回：7年12月23日（火） 【更木地区】事務局：博愛会 ・利用登録申し込みがなく中止	幹事会では、各分科会の取組状況を確認・共有し、今後の方向性や事業計画等を協議しました。 地域課題研究分科会では、買物支援事業の実施地区を拡充し、新たに更木地区で実施を予定しましたが、利用登録申し込みがなく、和賀地区のみでの実施となりました。 人材育成・サービス向上分科会では、法人連携による取り組みや今後の展望、社会福祉法人に求められる役割等を学ぶ研修会を開催し、会員法人の資質向上の一助となりました。 総務及び広報活動分科会では、広報紙を作成し、市内全戸への配布により連絡会の活動を周知しました。 以下は、内容及び実績の続き (2) 人材育成・サービス向上分科会 ① 会議開催回数：2回 ② 内 容：研修会の内容等について ③ 研修会開催回数：1回 第1回 期 日：7年4月23日（水） 会 場：ホテルシティプラザ北上 参加者：32名 内 容：社会福祉法人施設連絡会の連携・協働の場の意義～ながいずみーるの効果と課題～ 講 師：社会福祉法人長泉町社会福祉協議会（静岡県） 主任主査 渡邊 麻由 氏 (3) 総務及び広報活動分科会 ① 会議開催回数：2回 ② 内 容： ・広報誌発行（きたかみ福祉のオーケストラ） 発行日：7年9月19日 発行部数：39,500部 ・8年度事業計画及び収支予算の検討

(5) 社会福祉協議会会費の納入状況

内容及び実績	成果や課題等
① 一般会費：16,162,300 円（詳細はP50 参照） ② 賛助会費：604,000 円（302 件） ③ 団体会費：93,000 円（30 件） ④ 特別会費：1,475,000 円（140 件） 合計 18,334,300 円	市民、福祉団体及び企業等に会費の協力をいただくことにより、地域福祉活動に参加していただいています。 当会費は、法人運営や地域福祉を推進する上で貴重な財源であることから、当協議会の認知度向

内容及び実績	成果や課題等
	上を図り、会費の必要性を理解し納入に協力していただけるよう啓蒙活動を行い、新規会員の拡大に努めます。

(6) 福祉基金の管理状況等

① 福祉基金運営委員会の開催状況

開催期日及び出席者数
7年7月28日（月） 出席者 7名

② 福祉基金等の寄付及び助成実績

内容及び実績	成果や課題等
- 福祉基金 寄付件数：2件 寄付金額：172,000円 - 一般活動 寄付件数：29件 寄付金額：792,763円（現金788,451円） ※金額非公表分を除く（物品 4,312円） ※詳細はP49参照	広く寄付を募り、頂戴した寄付金は学習支援事業や市内子ども食堂に係る運営費など地域福祉活動に役立てました。 また、物品は当協議会事業等に活用し、福祉の増進に役立てました。

助成先（団体名）	助成内容	助成金交付 決定額(円)	助成額(円)
北上市手をつなぐ育成会	視察研修事業	40,000	40,000
ボランティアサークルつばさ	歌のつばさ福祉施設等の慰問事業	10,000	10,000
傾聴ボランティアきたかみ	傾聴活動スキルアップ及び広報事業	50,000	16,000
北上市ボランティア連絡協議会	サークル交流研修会と会報発行事業	43,000	43,000
岩手県聴覚障害者協会北上支部	聴覚障がい者社会参加促進事業	40,000	30,000
北上市食生活改善推進員協議会	食育推進事業	80,000	80,000
きたかみ子育てネット	子育てママの時短セルフメンテナンス事業	50,000	50,000
合計（助成交付決定7団体、助成7団体）		313,000	269,000

③ 福祉基金積立額等（単位：円）

	6年度末 現在高	7年度 積立額	7年度末 現在高	7年度 利金額	備考
一般福祉基金	185,243,934	172,000	185,415,934	2,208,519	
地域福祉基金	75,481,309	0	75,481,309	646,922	うち福祉団体に 269,000円を助成
合計	260,725,243	172,000	260,897,243	2,855,441	

(7) 赤い羽根共同募金運動の実績 ※詳細はP51参照

① 一般募金の実績 (単位：円)

目標額	12,475,000
実績額	12,185,777
達成率	97.7%

実績額内訳

戸別募金	7,975,996
法人募金	1,684,371
街頭募金	297,236
学校募金	355,853
職域募金	381,532
その他	1,490,789

② 歳末たすけあい募金の実績 (単位：円)

目標額	3,305,000
実績額	3,249,506
達成率	98.3%

実績額内訳

戸別募金	2,264,567
法人募金	348,526
その他	636,413

③ 歳末たすけあい募金「まごころ応援金」の配分実績 (単位：円)

区分	配分件数(件)	配分金額
ねたきり高齢者がいる世帯	1	6,000
重度心身障がい者(児)がいる世帯	70	420,000
支援を必要とする世帯	146	876,000
合計	217	1,302,000